



町のわだい

今月の題字 笹花 柊弥君 (山田小5年)



山田高3年生の「高校生議会」 古里の未来に向け熱い議論

議場に立ち、古里の未来に向け提言をする高校生議員——。山田高校(晴山俊校長・生徒77人)の3年生30人による「ふるさと探究高校生議会」が、1月20日、役場議場で開かれました。同校の「ふるさと探究」授業の一環で行われたもので、生徒らは観光や福祉、教育、防災などのテーマごとに取り組んだ校外調査の結果などを踏まえ、町議会と同じ形式で「一般質問」。質問席からは、「流行を捉えた観光スポットの設置を」「水産加工品にQRコードを貼付し、生産者情報や町の情報を発信しては」などと、町長はじめ、町幹部職員を相手に熱い議論を交わしました。

B&G初の「なわとび大会」に120人 団体、個人で記録に挑戦

1月22日、町B&G海洋センター主催の「第1回山田町B&Gなわとび大会」が同体育館で開かれました。初めてとなるこの大会には、町内のスポーツ少年団や企業など13団体・約120人が参加。「大縄跳びの部」と「縄跳び記録会の部」に分かれ、団体、個人で記録に挑戦しました。どれだけ長い時間跳べるかを競う記録会の部では、一人用の縄跳びを手にピョンピョンと慎重に跳ぶ子どもたちの姿が見られ、周囲からは声援や拍手が送られていました。2分25秒を記録した駒井桜華さん(7)は「練習よりも長く跳べて良かったです」と達成感をにじませていました。



キッズミュージカル公演に観客340人 共演の子どもらの熱演に拍手

沿岸部の芸術文化活動を支援している特定非営利法人劇団ゆう主催のキッズミュージカル「アラジンと魔法のランプ」が、1月29日、町中央公民館大ホールで行われました。東日本大震災後から続けている本公演には、本町の小中学生25人が共演。アラブ民族風の華やかな衣装に身を包み、プロの劇団員たちと息を合わせて熱の入った演技と元気いっぱいの踊りを披露しました。会場には、子どもたちの姿を一目見ようと約340人の観客が訪れ、緊張した表情を見せながらも懸命に役になりきる子どもたちの姿に満場の拍手を送っていました。